

# 製品安全データシート

P. 1/7

最新改訂版作成日:2011年 4月 5日

MJIC8C

## 1. 製品および会社情報

### 製品名

エプソンインクカートリッジ MJIC8C

### 会社情報

販売会社 :エプソン販売株式会社  
住所 :〒160-8324 東京都新宿区西新宿 6-24-1 西新宿三井ビル 24F  
電話番号 :03-5321-4111(代) FAX 番号 :03-5321-4198  
  
製造業者 :セイコーエプソン株式会社  
住所 :〒399-0785 長野県塩尻市広丘原新田 80 番地

## 2. 危険有害性の要約

<シアン、マゼンタ、イエローインク>

### GHS分類

物理化学的危険性	
引火性液体	区分外
人健康有害性	
急性毒性(経口)	区分外
急性毒性(経皮)	区分外
急性毒性(吸入:気体)	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	区分外
急性毒性(吸入:粉塵/ミスト)	区分外
皮膚腐食性/刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分外
呼吸器感作性	区分外
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	区分外
発がん性	区分外
生殖毒性	区分外
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分外
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	区分外
吸引性呼吸器有害性	区分外
環境有害性	
水生環境急性有害性	区分外
水生環境慢性有害性	区分外

### GHSラベル要素

絵表示	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし
注意書き	なし

# 製品安全データシート

P. 2/7

最新改訂版作成日: 2011年 4月 5日

MJIC8C

## 3. 組成、成分情報

### 単一製品・混合物の区別: 混合物

水溶性インクの成分表 (\* は当社の機密情報のため開示できません)

#### <シアンインク>

化学名	含有量 (wt%)	官報公示整理番号 (化審法 <sup>(1)</sup> 安衛法 <sup>(2)</sup> )	CAS No. <sup>(3)</sup>
色材(銅化合物) *	1 - 5	- *	- *
有機成分 *	1 - 5	- *	- *
トリエタノールアミン	< 1	(2) - 308	102-71-6
ジエチレングリコール	5 - 10	(2) - 415	111-46-6
トリエチレングリコールモノブチルエーテル	約 10	(2) - 436	143-22-6
グリセロール類 *	10 - 15	- *	- *
水	残余	対象外	7732-18-5

#### <マゼンタインク>

化学名	含有量 (wt%)	官報公示整理番号 (化審法 <sup>(1)</sup> 安衛法 <sup>(2)</sup> )	CAS No. <sup>(3)</sup>
色材 *	1 - 5	- *	- *
有機成分 *	5 - 10	- *	- *
トリエタノールアミン	< 1	(2) - 308	102-71-6
ジエチレングリコール	5 - 10	(2) - 415	111-46-6
トリエチレングリコールモノブチルエーテル	約 10	(2) - 436	143-22-6
グリセロール類 *	約 10	- *	- *
水	残余	対象外	7732-18-5

#### <イエローインク>

化学名	含有量 (wt%)	官報公示整理番号 (化審法 <sup>(1)</sup> 安衛法 <sup>(2)</sup> )	CAS No. <sup>(3)</sup>
色材 *	1 - 5	- *	- *
有機成分 *	1 - 5	- *	- *
トリエタノールアミン	< 1	(2) - 308	102-71-6
ジエチレングリコール	10 - 15	(2) - 415	111-46-6
トリエチレングリコールモノブチルエーテル	約 10	(2) - 436	143-22-6
グリセロール類 *	約 10	- *	- *
水	残余	対象外	7732-18-5

## 4. 応急処置

- 吸入した場合 : 新鮮な空気の場所に移動させ、安静にしてください。必要なら医師に相談してください。
- 皮膚に付着した場合 : 水と石鹸で洗ってください。炎症の徴候がある場合は、医師の診断を受けてください。
- 眼に入った場合 : 直ちに、室温、低圧、清浄な水で15分以上、洗い流してください。目の刺激が続くときには、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中をうがいし、速やかに専門医の診断を受けてください。
- 応急措置をする者の保護 : 特になし
- 医師に対する特別注意事項 : なし

# 製品安全データシート

P. 3/7

最新改訂版作成日: 2011年 4月 5日

MJIC8C

## 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 化学消火剤、二酸化炭素
- 特有の消火方法 : 吸入器具以外の特別な方法を必要としません。爆発の危険性は無いとおもわれます。
- 消火を行う者の保護 : 必要に応じて適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用してください。
- 引火性 : 引火性はありません。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 眼にインクが入らないように気をつけてください。手についたインクは水と石鹼でよく洗い流してください。
- 保護具と緊急時措置 : 必要に応じて適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用してください。
- 環境に対する注意事項 : 下水に流さないでください。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : スポンジなどを用いて液体を拭き取り、それを密閉容器に入れ、適切な方法で廃棄してください。作業の際には、換気をしてください。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

- 技術的対策 : 通常の手扱いは必要ありません。
- 局所排気・全体換気 : 通常の手扱いは必要ありません。
- 注意事項 : 眼や皮膚、衣服等にインクが付かないようにしてください。また、インクを飲まないようにしてください。
- 接触回避 : 通常の手扱いは必要ありません。
- 安全取扱い注意事項 : 子供が誤ってインクを飲まないよう、子供を近づけないでください。カートリッジをプリンタに装着する際には、カートリッジからインクが濡れていないことを確認してください。カートリッジを分解しないでください。カートリッジを強く振らないでください。強く振ったり振り回したりすると、インクが漏れることがあります。

### 保管

- 保管条件 : 直射日光を避け、常温常湿で保管してください。酸化剤または爆発物とは一緒に保管しないでください。
- 容器包装材料 : 適用外(本製品は、他の容器包装へ移し変えて保管することを意図されていません。)

## 8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度 :

製品	安衛法 管理濃度	日本産業衛生 学会勧告値	ACGIH TLV <sup>(4)</sup>	OSHA PEL <sup>(5)</sup>
インクジェットプリンタ用 インク	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし

成分	安衛法 管理濃度	日本産業衛生 学会勧告値	ACGIH TLV <sup>(4)</sup>	OSHA PEL <sup>(5)</sup>
グリセロール(ミスト)	設定なし	設定なし	10mg/m <sup>3</sup>	15mg/m <sup>3</sup>

## 製品安全データシート

P. 4/7

最新改訂版作成日: 2011年 4月 5日

MJIC8C

設備対策 : 必要としません。

### 保護具

呼吸器の保護具 : プリンタにカートリッジを装着して印刷を行う際には必要としません。  
 手の保護具 : プリンタにカートリッジを装着して印刷を行う際には必要としません。  
 眼の保護具 : プリンタにカートリッジを装着して印刷を行う際には必要としません。  
 皮膚及び身体の保護具 : プリンタにカートリッジを装着して印刷を行う際には必要としません。

## 9. 物理的及び化学的性質

	シアンインク	マゼンタインク	イエローインク
外観(形態、色)	シアン液体	マゼンタ液体	イエロー液体
臭い	わずかな臭い	わずかな臭い	わずかな臭い
pH	9.4±0.5 (at 20°C)	9.1±0.5 (at 20°C)	9.1±0.5 (at 20°C)
融点・凝固点	0°C未満	0°C未満	0°C未満
沸点、初留点及び沸騰範囲	100°C	100°C	100°C
引火点	110°Cまでの測定において検出されない (closedcup,ASTMD3278)	110°Cまでの測定において検出されない (closedcup,ASTMD3278)	110°Cまでの測定において検出されない (closedcup,ASTMD3278)
引火性	可燃物ではない	可燃物ではない	可燃物ではない
爆発範囲	なし	なし	なし
蒸気圧	有効データなし	有効データなし	有効データなし
蒸気密度	有効データなし	有効データなし	有効データなし
比重(密度)	約 1.07	約 1.08	約 1.06
溶解度	∞	∞	∞
n-オクタノール／水分配係数	有効データなし	有効データなし	有効データなし
蒸発速度	有効データなし	有効データなし	有効データなし
燃焼性(固体・ガス)	有効データなし	有効データなし	有効データなし
粘度	5 mPa·s 以下	5 mPa·s 以下	5 mPa·s 以下
その他のデータ	なし	なし	なし

## 10. 安定性及び反応性

安定性 : 一般的な貯蔵・取り扱いにおいては安定です。  
 危険有害反応可能性 : 常温では反応性はありません。  
 避けるべき条件 : 一般的な貯蔵・取り扱いにおいてはありませぬ。  
 混触危険物質 : 酸化剤、爆発物  
 危険有害な分解生成物 : 常温では分解しません。

# 製品安全データシート

P. 5/7

最新改訂版作成日: 2011年 4月 5日

MJIC8C

## 11. 有害性情報 労働省の有害基準<sup>(6)</sup>については 16. その他を参照のこと <シアン、マゼンタ、イエローインク>

急性毒性 :

経口LD 50 <sup>(7)</sup>	経皮LD 50 <sup>(7)</sup>	吸入LC 50 <sup>(8)</sup>
>5000 mg/kg (ラット)	>2000 mg/kg (ラット)	データなし

皮膚腐食性・刺激性 : Non irritant (ラビット) OECD ガイドライン No.404  
 眼に対する重篤な損傷・刺激性 : Mild irritant (ラビット) OECD ガイドライン No.405  
 呼吸器または皮膚感受性 : なし (モルモット) OECD ガイドライン No.406  
 生殖細胞変異原性 : 陰性 (エームズ試験<sup>(9)</sup>による)  
 生殖毒性 : EU 指令 1999/45/EC に基づいた危険分類に該当しません。  
 吸引性呼吸器有害性 : 有効データなし  
 慢性毒性・長期毒性 : 有効データなし  
 発がん性 : IARC(国際がん研究機関)の発ガン物質(グループ 1,2A,2B)に分類されている物質を処方構成成分として添加していません。

## 12. 環境影響情報

生態毒性 : 環境への影響について、有効なデータはありません。  
 残留性・分解性 : 環境への影響について、有効なデータはありません。  
 生体蓄積性 : 環境への影響について、有効なデータはありません。  
 土壤中の移動性 : 環境への影響について、有効なデータはありません。

## 13. 廃棄上の注意

当該法規(国・都道府県および地方の法規・条例)に従って廃棄物処理をおこなってください。  
 外部に委託する場合は、内容を明確にしたうえで、産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。

## 14. 輸送上の注意

国際規制 : 該当しません。  
 国連番号 : 該当しません。  
 品名(国連輸送名) : 該当しません。  
 国連分類 : 該当しません。  
 容器等級 : 該当しません。  
 海洋汚染物質 : 該当しません。

## 15. 適用法令

消防法 : 該当しません。  
 労働安全衛生法 通知対象物 : 銅及びその化合物(379)、トリエタノールアミン(381)を含有します  
 化学物質排出把握管理促進法<sup>(10)</sup> : 該当しません。  
 その他 : 該当しません。

## 製品安全データシート

P. 6/7

最新改訂版作成日:2011年 4月 5日

MJIC8C

### 16. その他の情報

- (1) 化審法: 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律
- (2) 安衛法: 労働安全衛生法
- (3) CAS No.: Chemical Abstracts Service Registry Number
- (4) ACGIH TLV: American Conference of Governmental Industrial Hygienists(米国産業衛生  
専門家会議)で定めた Threshold Limit Value(許容濃度)
- (5) OSHA PEL: Occupational Safety and Health Administration(米国労働安全衛生局)で定めた  
Permissible Exposure Limit(許容暴露限度)
- (6) 労働省の有害基準: 労働省通達基発第 395 号(H 4-7-1) 化学物質などの危険有害性  
試験基準及び化学物質などの危険有害性評価基準  
有害基準として: 経口毒性 : (LD 50) 500 mg/kg以下  
吸入毒性 : (LD 50) 20 mg/L以下  
皮膚刺激性 : 紅斑 2 以上(平均)  
浮腫 2 以上(平均)  
眼刺激性 : 角膜 2 以上(平均) 虹彩 1 以上(平均)  
結膜発赤 2.5 以上(平均)  
結膜水腫 2 以上(平均)  
皮膚感作性 : 30%以上(アジュバンド有り)  
変異原性 : 労働省告示第 77 号 変異原性が認められその比活性が  
被験物質 1 mgあたり 1000 以上
- (7) LD50: Lethal Dose 50 50%致死量
- (8) LC50: Lethal Concentration 50 50%致死濃度
- (9) エームズ試験: 微生物(サルモネラ、大腸菌など)を用いる変異原性試験
- (10) 化学物質排出把握管理促進法: 特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の  
改善の促進に関する法律

### <引用文献>

- ・労働安全衛生法 管理濃度
- ・日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告
- ・米国 産業衛生専門家会議(ACGIH), Threshold Limit Values for Chemical Substances and  
Physical Agents and Biological Exposure Indices
- ・世界保健機構(WHO)国際がん研究機関(IARC), IARC Monographs on the Evaluation on the  
Carcinogenic Risk of Chemicals to Humans

## 製品安全データシート

P. 7/7

最新改訂版作成日:2011年 4月 5日

MJIC8C

---

本文書の記載内容は、ユーザーズマニュアル(取扱説明書)に指定された通常の下で製品のふさわしい使用に対して、弊社の見解を表したものです。さらに、記載されているデータは、弊社の最善の知見に基づくものですが、すべての化学品には、未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。特殊な取り扱いには、この点ご配慮をお願いいたします。

---